

単元指導計画（第5学年）

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

<We Can! 1 Unit 7 Where is the treasure?（道案内, 位置関係, 身の回りの物, 建物）>

<単元の目標>

- 他者に配慮しながら, 場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 物の位置を尋ねたり答えたりする表現を, 聞いたり言ったりする。また, 簡単な語句を書き写す。
【外国語への慣れ親しみ】
- 道案内で, 場所を尋ねたり答えたり, 簡単な語句を推測しながら読んだりする。
【外国語への慣れ親しみ】
- 英語と日本語とでは, 位置を表す際の語順や建物の表し方が違うことに気付く。
【言語や文化に関する気付き】

<単元の評価規準>

| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語への慣れ親しみ | 言語や文化に関する気付き |
|-------------------------------------|---|---|
| ・他者に配慮しながら, 場所を尋ねたり道案内をしたりしようとしている。 | ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を, 聞いたり言ったりしている。 ・簡単な語句を書き写している。 ・道案内で, 場所を尋ねたり答えたりしている。 ・簡単な語句を推測しながら読んでいる。 | ・英語と日本語とでは, 位置を表す際の語順が違うことに気付いている。 ・英語と日本語とでは, 建物の表し方が違うことに気付いている。 |

<使用表現・語彙>

【主な使用表現・語彙】

- ・ Where is the treasure?
- ・ Go straight (for three blocks). Turn [right / left] (at the third corner).
- ・ You can see it on your [right / left]. ・ It's [on / in / under / by] (the desk).
- ・ 身の回りの物 (cap, cup, basket, scissors, box)
- ・ 建物 (station, fire station, gas station, police station, post office, hospital, supermarket, convenience store, department store, bookstore, park)
- ・ treasure, block, in, under, by, corner

【繰り返しの使用表現・語彙】

- ・ Where do you want to go? I want to go to (Kaita). ・ Go straight. Turn left/right.
- ・ Thank you. ・ 動作, 施設・建物 (library, school, park)

<単元計画（7時間【(2, 3, 5, 6, 7時) 5時間+ (1, 4時) 6モジュール (15分)】)>

| 時 | 目標と主な活動 | 表現・会話例 | 評価規準(方法) |
|---|---|---|---|
| 1 | ○物の位置を尋ねたり答えたりする表現を, 聞いた り言ったりする。 ○英語と日本語とでは, 位置を表す際の語順が違う ことに気付く。 | Where is (a yo-yo)? It's [on / in / under / by] (the desk). 身の回りの物 (cap, cup, basket, scissors, box など) | ・物の位置を尋 ねたり答えたり する表現を, 聞 いたり言ったり している。【慣】 ・英語と日本語 とでは, 位置を 表す際の語順が 違うことに気付 いている。【気】 (行動観察, ワ ークシート点 検, 振り返りカ ード分析) |
| | 物の位置を言ってみよう。 ・【Let's Watch and Think 1時目】「探してい るものを考えて, 指でおさえよう。①」 ・「位置を表す表現を知ろう。」 | | |
| | 物の位置をたずねたり答えたりする表現を言っ てみよう。 ・【Let's Watch and Think 2時目】「探してい るものを考えて, 指でおさえよう。②」 ・「物の位置をたずねたり答えたりする表現を知 ろう。」 | | |
| | 物の位置をたずねたり答えたりしよう。 C・【Let's Play 1】ポインティングゲーム ・「物の位置をたずねたり答えたりしよう。」 | | |
| 2 | ○物の位置を尋ねたり答えたりする表現を, 聞いた り言ったりする。 | It's [on / in / under / by] (the desk). It's (blue). It's a bag. That's right. Where is (a bag)? 身の回りの物 (cap, cup, basket, scissors, box など) | ・物の位置を尋 ねたり答えたり する表現を, 聞 いたり言ったり している。【慣】 (行動観察, ワ ークシート点 検, 振り返りカ ード分析) |
| | いろいろな物の位置をたずねたり答えたりしよ う。 ・【短い話を聞く活動】「先生たちがどんなことに ついて話しているのか聞いてみよう。」 ※この単元で取組む課題を知り, 単元の見通しをも つ。 ・【Let's Listen 1】「探しているものがどこにある かを聞いて, ○をつけよう。」 ・【Chant】Where is my bag? (オリジナル) ・【Let's Play 2】「友だちのほしいものについてイ ンタビューし, どれかを考えよう。」 ・「教室内のどこに何があるかをたずねたり答えたり しよう。」 | | |
| 3 | ○物の位置を尋ねたり答えたりする表現を, 聞いた り言ったりする。また, 簡単な語句を書き写す。 | This is my room. I have (a cap) [on / in / under / by] (the wall). It's [on / in / under / by] (the desk). It's (blue). | ・物の位置を尋 ねたり答えたり する表現を, 聞 いたり言ったり している。【慣】 ・簡単な語句を |
| | 理想の“My room”を伝え合おう。 ・【Chant】Where is my bag? (オリジナル) ・【Let's Listen 2】「どれがだれの部屋かを聞いて, ()に番号を書こう。」 | | |

| | | | |
|---|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「イラストを描き加え、自分の理想の部屋にしよう。」 ・「自分の部屋の様子を英語で説明する練習をしよう。」 ・「友だちと部屋の様子を伝え合おう。」 | <p>It's a bag. That's right. Where is (a bag)? 身の回りの物 (cap, cup, basket, scissors, box など)</p> | <p>書き写している。【慣】 (行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p> |
| 4 | <p>○英語と日本語とでは、建物の表し方が違うことに気付く。 ○簡単な語句を推測しながら読んだり、書き写したりする。</p> | <p>Where is the (station)? 施設 (station, amusement park, aquarium, library, park, department store など)</p> | <p>・英語と日本語とでは、建物の表し方が違うことに気付いている。【気】 ・簡単な語句を推測しながら読んでいる。【慣】 ・簡単な語句を書き写している。【慣】 (行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p> |
| | <p>いろいろな建物の言い方を知ろう。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Chant】 ビルじゃなくて building 『バナナじゃなくて banana チャンツ』 ・「いろいろな建物の言い方を知ろう。」 ・「キーワードゲーム」 | | |
| | <p>海田町にある建物などを英語で言ってみよう。</p> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海田町マップポイントゲーム」 ・「海田町にある建物などを、英語で言ってみよう。」 | | |
| | <p>英語版海田町マップを作ろう。</p> <p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図記号クイズをしよう。」 ・「英語版海田町マップを作ろう。」 | | |
| 5 | <p>○道案内で、場所を尋ねたり答えたりする。</p> <p>道案内の仕方を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【短い話を聞く活動】「先生たちがどんなことについて話しているのか聞いてみよう。」 ・「道案内の仕方を知ろう。」 ・【Let's Chant】 Where is the treasure? ・【Let's Listen 3】「道案内を聞いて、どこに行くのかを考えよう。」 ・【Let's Play 4】「友だちの道案内を聞いて、目的地をさがそう。」 | <p>Where is the (station)? Go straight (for three blocks). Turn [right / left] (at the third corner). You can see it on your [right / left]. Thank you! You're welcome.</p> | <p>・道案内で、場所を尋ねたり答えたりしている。【慣】 (行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p> |
| | <p>○他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。 ○道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。</p> <p>道案内をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Chant】 Where is the treasure? ・【Let's Listen 4】「道案内を聞いて、どこに行くのかを考えよう。1」 | | |
| 6 | | | |

| | | | |
|---|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・【短い話を聞く活動】「先生たちの道案内のやり取りを聞こう。」 ・【Activity】「宝物を一つ選び、ペアでたずね合おう。」 ・【Let's Listen 4】「道案内を聞いて、どこに行くのかを考えよう。2」 | <p>It's [on / in / under / by] (the box).</p> <p>It's a turtle.</p> | <p>えたりしている。【慣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句を推測しながら読んでいる。【慣】 <p>(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p> |
| 7 | <p>○他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。</p> <p>○道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。</p> <p>「オリジナル海田町マップ」を使って宝探しをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Chant】 Where is the treasure? ・「グループで『オリジナル海田町マップ』に宝物を書き込もう。」 ・「グループでやり取りの練習をしよう。」 ・「他のグループの友だちと道案内をし合う『宝探しゲーム』をしよう。」 <p>●単元ふり返りカードの記入</p> <p>※内容面と言語面についてふり返る。</p> | <p>A: Where is the treasure?</p> <p>B: OK. Go straight (for one block).</p> <p>Turn [right / left] (at the first corner).</p> <p>Go straight (a little bit).</p> <p>Keep going.</p> <p>You can see it on your [right / left].</p> <p>It's [on / in / under / by] (the box).</p> <p>A: Thank you.</p> <p>It's a sunflower.</p> <p>B: That's right.</p> <p>It's beautiful.</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとしている。 <p>【コ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内で、場所を尋ねたり答えたりしている。【慣】 ・簡単な語句を推測しながら読んでいる。【慣】 <p>(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p> |

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第1時① モジュールA (15分)

- 目標：・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりする。
 ・英語と日本語とでは、位置を表す際の語順が違うことに気付く。

準備：タブレット【デジタル教材 (We Can! 1)】、文字カード、絵カード、ワークシート

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|-----|---|---|---|
| 導入 | ○挨拶をする。 ○本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">物の位置を言ってみよう。</div> | ◇短く挨拶をかわす。 | |
| 展開 | ○【Let's Watch and Think 1時目】 「探しているものを考えて、指でおさえよう。①」 ・デジタル教材を視聴し、ワークシート (We Can! 1 P50-51 誌面) のイラストから探しているものを見つけて、指で押さえる。 ○「位置を表す表現を知ろう。」 ・絵カードを見て、物の位置を表す on / in / under/ by を用いた表現を知る。 ・学んだ表現を使って、教室内のいろいろなものの位置を言ってみる。 | ◇児童の実態に合わせて、個人で探す、ペアで協力して探す、競争するなどの活動のバリエーションをふやしても良い。 ◆聞き取りの苦手な児童には、ゆっくり読んだり、繰り返し聞かせたりする。 ◇日本語では「○○の上」だが、英語では "on the ○○." という語順になることに気付かせる。 ◆実物を机の色々な位置に置きながら言い、視覚と音を結びつける。 ◇壁に貼られているなど、接触しているものは“on” で示すことにも気付かせる。 | ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりしている。 【慣】 ・英語と日本語とでは、位置を表す際の語順が違うことに気付いている。 【気】 (行動観察、ワークシート点検、振り返りカード分析) |
| まとめ | ○本時の活動をふり返る。 ○挨拶をする。 | ◇児童が英語と日本語の語順の違いに気付き、いろいろな物の位置を聞いたり言ったりしていた姿を評価する。 | |

★【めざす子どもの姿】
 ・英語と日本語では、位置を表す際の語順が違うことに気付き、はっきりとした声で物やその位置を言っている。
 A yo-yo. It's on the desk.

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第1時② モジュールB (15分)

- 目標：・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりする。
 ・英語と日本語とでは、位置を表す際の語順が違うことに気付く。

準備：タブレット【デジタル教材 (We Can! 1)】、文字カード、絵カード、ワークシート

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|-----|---|---|---|
| 導入 | ○挨拶をする。 ○本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 物の位置をたずねたり答えたりする表現を言ってみよう。 </div> | ◇短く挨拶をかわす。 | |
| 展開 | ○【Let's Watch and Think 2時目】 「探しているものを考えて、指でおさえよう。②」 ・デジタル教材を視聴し、ワークシート (We Can! 1 P50-51 誌面) のイラストから探しているものを見つけて、指で押さえる。 ○「物の位置をたずねたり答えたりする表現を知ろう。」 ・デジタル教材を再度聞き、物の位置を尋ねたり答えたりする表現を知る。 ・学んだ表現を使って、教室内のいろいろなものの位置をたずねたり答えたりしてみる。 | ◇児童の実態に合わせて、個人で探す、ペアで協力して探す、競争するなどの活動のバリエーションをふやしても良い。 ◆聞き取りの苦手な児童には、ゆっくり読んだり、繰り返し聞かせたりする。 ◇日本語では「○○の上」だが、英語では "on the ○○." という語順になることに気付かせる。 ◆実物を机の色々な位置に置きながら言い、視覚と音を結びつける。 ◇壁に貼られているなど、接触しているものは“on” で示すことにも気付かせる。 | ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりしている。 【慣】 ・英語と日本語とでは、位置を表す際の語順が違うことに気付いている。 【気】 (行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析) |
| まとめ | ○本時の活動をふり返る。 ○挨拶をする。 | ◇児童が英語と日本語の語順の違いに気付き、いろいろな物の位置を尋ねたり答えたりしていた姿を評価する。 | |

★【めざす子どもの姿】

・英語と日本語では、位置を表す際の語順が違うことに気付き、はっきりとした声で物やその位置を尋ねたり答えたりしている。

Where is my ruler? It's in the cup.

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第1時③ モジュールC (15分)

目標：物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりする。

準備：タブレット【デジタル教材 (We Can! 1)】，文字カード，絵カード，ワークシート

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|-----|--|---|---|
| 導入 | ○挨拶をする。 ○本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 物の位置をたずねたり答えたりしよう。 </div> | ◇短く挨拶をかわす。 | |
| 展開 | ○【Let's Play 1】ポインティングゲーム ・ワークシート (We Can! 1 P50-51 誌面) のイラストを見ながら, "Where is ~?" "It's ~." を用いて物の位置を尋ね合うポインティングゲームを行う。 ○「物の位置をたずねたり答えたりしよう。」 ・グループで1名の児童以外が目を閉じている間に, 教室に物を置く (隠す)。 ・場所を知っている児童が, グループの児童に, "Where is ~?" と尋ね, 他の児童が当てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ★【めざす子どもの姿】 ・はっきりとした声で, 物やその位置を尋ねたり答えたりしている。 Where is my ruler? It's in the cup. </div> | ◇最初に指導者がボランティアの児童とともに活動のモデルを見せる。 ◇ペアで行ったり, グループで競争したりするなど, クラスの実態に応じた活動形態で行う。 ◆机間指導を行い, うまく活動のできていない児童を支援する。 ◇指導者と問題を出す児童が相談をして物を置く位置を決め, 答えの言い方を他の児童に分からないように文字等で確認しておく。 ◆範囲を指定するなどのヒントを与えたり, 表現の絵カードを掲示して指さしたりするなどの支援を行う。 | ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を, 聞いたり言ったりしている。 【慣】 (行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析) |
| まとめ | ○本時の活動をふり返る。 ○挨拶をする。 | ◇児童が丁寧に英語を書いて, 英語版マップを作成しようとした姿などを評価する。 | |

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第2時 (45分)

目標：物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりする。また、簡単な語句を書き写す。

準備：タブレット【デジタル教材 (We Can! 1), ICT教材】、文字カード、絵カード、ワークシート

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|--------------------------------|---|--|----------------|
| 導 入 | <p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日, 日付, 天気を言う。 <p>○【短い話を聞く活動】 「先生たちがどんなことについて話しているのか聞いてみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の対話を聞き, どのようなやり取りをしているのか考える。 | <p>◇はっきりとした声で, 気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇物の位置を尋ねる表現と, 地図を見ながら道案内をする表現を用いたやり取りを聞かせ, 本単元で行う活動がどのようなものかを知らせる。</p> | |
| | <p>【Teacher Talk の例】</p> <p>T1: I want to go somewhere. Where is the guide book? T2: The guide book? Oh, it's on the desk. (ガイドブックを手渡す) Here you are. T1: Thank you. (ガイドブックを見て) Oh, I want to visit Chiba-ke. Where is Chiba-ke? T2: Go straight for three blocks. Turn left. Go straight. You can see it on your right. T1: Thank you. T2: You can see very beautiful garden. It's our treasure in Kaita.</p> | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・T2はT1に何を伝えたかなど, 分かったことや聞こえた英語を発表する。 ・総合的な学習の時間に学んだことをふり返り, それを生かせないかを考える。 <p>○単元の目標を定め, 本時のめあてを立てる。</p> | <p>◇物の位置を尋ねる表現と道案内の表現に気付かせる。</p> <p>◆もう一度対話をゆっくりと言って聞かせる。</p> | |
| <p>いろいろな物の位置をたずねたり答えたりしよう。</p> | | | |
| 展 開 | <p>○【Let's Listen 1】「探しているものがどこにあるかを聞いて, ○をつけよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の位置を表す前置詞の言い方を練 | <p>◇日本語では「○○の上」だが, 英語では "on the ○○." という語順になることや, 壁に貼られているなど, 接触しているものは"on" で示すことに</p> | |

| | | | |
|--|---|--|--|
| | <p>習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を聞いて、探しているものに○（番号）をつける。 ・答えを確認し、位置を表す表現を繰り返して言う。 <p>○【Chant】Where is my bag?（オリジナル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT教材でチャンツを聞いて、表現を知る。 ・チャンツを言う。 <p>○【Let's Play 2】「友だちのほしいものについてインタビューし、どれかを考えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が、誌面の中から一人がある物を選んでその場所のヒントを言い、もう一人がヒントを聞いてそれが何かを言う活動のモデルを見せる。 ・ペアでやり取りを行う。 <p>○「教室内のどこに何があるかをたずねたり答えたりしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が教室にある物を選んでその場所のヒントを言い、児童がそれが何かを当てる。 ・児童がペアやグループで、同様にや | <p>などを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆聞き取りの難しい児童には、前置詞を繰り返して聞かせ、手などで位置関係を示すヒントを与えるなどの支援を行う。 <p>◇リズムに乗って児童と一緒に言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆提示する表現の Where と前置詞の文字色を変え、意識して言わせる。 <p>◇指導者の示すモデルでやり方を理解させる。</p> <p>◇相手に分かりやすい伝え方などについても全員で共有してから始める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆机間指導を行い、英語での言い方にまだ慣れていない児童やペアでうまく活動できていない児童を支援する。 <p>◇指導者が事前にいつもは無いものを置いておくなどして、児童が楽しみながら尋ねたり答えたりできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆机間指導を行い、うまく活動できていないグループや児童を支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりしている。 <p>【慣】</p> <p>[行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析]</p> |
| ま と め | <p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p> | <p>◇児童が語順を意識しながら物の位置を尋ねたり答えたりしていた姿などを評価する。</p> | |
| <p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わりやすいように、はっきりとした声で、物の位置を尋ねたり答えたりしている。 <p>A: It's on the desk. It's blue. B: It's a bag. A: That's right.</p> | | | |

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第3時 (45分)

目標：物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりする。また、簡単な語句を書き写す。

準備：タブレット【デジタル教材 (We Can! 1), ICT 教材】、文字カード、絵カード、ワークシート、和英辞典

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|--|--|--|----------------|
| 導 入 | <p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日, 日付, 天気を言う。 <p>○【Chant】Where is my bag? (オリジナル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が質問側、指導者が答える側でチャンツを行う。その逆を行う。 <p>○本時のめあてを立てる。</p> | <p>◇はっきりとした声で、気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇リズムに乗って言えるように合図を出しながら言う。</p> <p>◆提示する表現の Where と前置詞の文字色を変え、意識して言わせる。</p> | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">理想の” My room” を伝え合おう。</div> | | | |
| 展 開 | <p>○【Let's Listen 2】「どれがだれの部屋かを聞いて、() に番号を書こう。」(We Can! 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の位置を表す前置詞の言い方を復習する。 ・ワークシートの4つの部屋を見比べ、部屋に置いてある物を英語で言う。 ・音声を聞き、登場人物の部屋がどれかを記入する。 ・答えを確認し、位置を表す表現を繰り返して言う。 <p>○「イラストを描き加え、自分の理想の部屋にしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机, 椅子, ベッドがある部屋のイラストに、自分の理想の部屋になるように色々な物を描き加える。 | <p>◇聞き取りの前の部屋の様子の確認は、児童の実態に応じて、省略したり丁寧に行ったりする。</p> <p>◆聞き取りの難しい児童には、前置詞を繰り返して聞かせ、手などで位置関係を示すヒントを与えるなどの支援を行う。</p> <p>◇答えを確認する際は、物だけでなくその位置を表す表現をしっかりと振り返らせる。</p> <p>◇指導者の描いたモデルを見せ、自分が英語で説明できるように分かりやすく描き加えることを伝える。</p> <p>◆ワークシートに記入する物の例を示しておき、なかなか描けない児童には</p> | |

| | | | |
|----------------------|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・描いたものを英語で言う練習をする。 <p>○「自分の部屋の様子を英語で説明する練習をしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が作成した部屋の絵を見せながら、英語で説明するモデルを見る。 ・ペアで絵を見ながら部屋の様子を英語で説明する練習を行う。 <p>○「友だちと部屋の様子を伝え合おう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が部屋の様子を伝えて、それをイラストに描き加える活動のモデルを見せる。 ・2つのペアでグループになり、一方のペアが協力して説明するのを聞き、もう一方がそれを聞いてイラストを完成させて相手の部屋の様子を再現する。 ・役割を交代して、同様に行う。 ・イラストを見せ合い、説明が伝わっ | <p>その中から選んで描くように声かけを行う。</p> <p>◇指導者のモデルでは、on / in / by / under や desk / bed / chair / wall などが偏り無く使われるように配慮する。</p> <p>◆机間指導を行い、うまく説明できていないペアや児童を支援する。</p> <p>◇活動がスムーズにできるように、イラストは簡単に描くように伝える。</p> <p>◇児童の実態に合わせて、色などの情報を加えたり、説明する物の数を制限したりするなどの指示を行う。</p> <p>◆机間指導を行い、うまく説明できていないペアや、スムーズに活動できていないグループを支援する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりしている。 <p>【慣】</p> <p>[行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析]</p> |
| | <p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わりやすいように、はっきりとした声で、部屋にある物の位置を説明している。 <p>I have a picture on the wall. I have a ball under the chair. I have a white cat by the bed. I have a cute doll on the desk.</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句を書き写している。 <p>【慣】</p> <p>(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が描いたもののうちいくつかを、例を見ながら英語で書き写す。 | <p>◆板書などで書き方の例を示したり、机間指導を行って書く際の留意点を伝えたりする。</p> | |
| <p>ま と め</p> | <p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p> | <p>◇児童が相手に分かりやすいように、語順を意識しながら物の位置を説明していた姿などを評価する。</p> | |

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第4時① モジュール A (15分)

目標：日本語と英語との建物の表し方の違いや、英語の文の語順、書くときの決まりに気付く。

準備：タブレット【ICT教材】、CD（『バナナじゃなくて banana チャンツ』）、文字カード、絵カード、ワークシート

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|-------------|---|--|--|
| 導 入 | ○挨拶をする。 ○本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> いろいろな建物の言い方を知ろう。 </div> | ◇短く挨拶をかわす。 | |
| 展 開 | ○【Chant】ビルじゃなくて building （『バナナじゃなくて banana チャンツ』） ・ワークシートのイラストを見て、CD を聞きながらチャンツを言う。 ○「いろいろな建物の言い方を知 ろう。」 ・絵カード（または ICT 教材）を提示 しながら、様々な建物の言い方を言 う。 ○「キーワードゲーム」 ・ペアで中央に消しゴムを置き、指導 者の言う建物名を繰り返して言う。キ ーワードの建物名が聞こえたら、消し ゴムを取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ★【めざす子どもの姿】 ・英語と日本語では、建物の表し方が違うことに気付き、はっきりとした声で建物の の言い方を言っている。 park, school, flower shop, hospital, book store </div> | ◇建物を表す英語表現の、カタカナ語 との発音の違いに気付かせる。 ◇日本の言い方に似ているものと違う ものがあることに気づかせ、発音を意 識しながら言わせる。 ◆言いづらい語はゆっくりと何度も繰 り返して言う。 ◇英語らしい音を意識しながらはっき りと繰り返して言わせる。 | ・日本語と英語 との建物の表 し方の違いに 気付いている。 【気】 （行動観察、ワ ークシート点 検、海田町マッ プ評価、振り返 りカード分析） |
| ま と め | ○本時の活動をふり返る。 ○挨拶をする。 | ◇児童が英語と日本語の音や表現の違いに気付き、言っていた姿を評価する。 | |

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第4時② モジュールB (15分)

目標：日本語と英語との建物の表し方の違いや、英語の文の語順、書くときの決まりに気付く。

準備：文字カード、絵カード、和英辞典、ワークシート

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|-----|---|--|---|
| 導入 | ○挨拶をする。 ○本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 海田町にある建物などを英語で言ってみよう。 </div> | ◇短く挨拶をかわす。 | |
| 展開 | ○「海田町マップポインティングゲーム」 ・海田町マップを見ながら、指導者が英語で言う建物のある場所を指差す。 ・同様にペア（またはグループ）で建物名を言い、指差すゲームを行う。 ○「海田町にある建物などを、英語で言ってみよう。」 ・自分達が紹介したい場所や建物名などを、英語で何というか考える。 ・みんなで海田町のいろいろな場所を英語で言ってみる。 | ◇建物を表す英語表現の、カタカナ語との発音の違いを意識しながら言ったり、児童に言わせたりする。 ◆机間指導を行い、英語での言い方にまだ慣れていない児童やペアでうまく活動できていない児童を支援する。 ◇和英辞典などを活用し、名称だけでは分かりにくいものは説明を添えるなどして、今後の活動で外国からの観光客に伝わるかどうか考えさせて活動させる。 | ・日本語と英語との建物の表し方の違いや、英語の文の語順、書くときの決まりに気付いている。【気】 （行動観察、ワークシート点検、海田町マップ評価、振り返りカード分析） |
| まとめ | ○本時の活動をふり返る。 ○挨拶をする。 | ◇児童が自分達が紹介したい海田町のいろいろな場所を英語で表現できたことなどを評価する。 | |

★【めざす子どもの姿】

- ・英語と日本語では、建物の表し方が違うことに気づき、はっきりとした声で海田町にある場所や建物名を英語で言っている。

Mt. Hinoura, The Seno River, Kaita Sogo Park, Kaita Elementary School
Kumano Shrine, The House of Chiba, a very old Japanese house

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第4時③ モジュールC (15分)

目標：日本語と英語との建物の表し方の違いや、英語の文の語順、書くときの決まりに気付く。

準備：タブレット【ICT教材】、文字カード、絵カード、和英辞典、ワークシート

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|-----|---|---|--|
| 導入 | <p>○挨拶をする。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">英語版海田町マップを作ろう。</div> | ◇短く挨拶をかわす。 | |
| 展開 | <p>○「地図記号クイズをしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図記号を描いたワークシートを見て、指導者の言う建物がどの記号を表すかを当てるクイズを行う。 ・指導者が地図記号カード（またはPower Point教材）を提示して、答え合わせを行い、様々な建物の言い方を練習する。 <p>○「英語版海田町マップを作ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海田町マップに、英語で場所や建物の名前を書く。 ・完成したら、友達と見せ合い、読みやすく丁寧に書けているかを確認し、英語で言ってみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を書くときの決まりに気をつけながら、丁寧に英語で場所や建物名を書いている。 <p style="text-align: center;">Mt. Hinoura, The Seno River, Kaita Sogo Park, Kaita Elementary School, Kumano Shrine, The House of Chiba, a very old Japanese house</p> </div> | <p>◇ “What’s this?” と尋ね、児童に “It’s a ~?” と答えさせる。</p> <p>◇社会科で学習したことを想起させる。</p> <p>◇文字カードを提示したり、書き方のモデルを見せたりして、書くときの決まりなどに気付かせる。</p> <p>◆机間指導を行い、書くことを苦手としている児童を支援する。</p> | <p>・日本語と英語との建物の表し方の違いや、英語の文の語順、書くときの決まりに気付いている。【気】</p> <p>（行動観察、ワークシート点検、海田町マップ評価、振り返りカード分析）</p> |
| まとめ | <p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p> | ◇児童が丁寧に英語を書いて、英語版マップを作成しようとした姿などを評価する。 | |

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第5時 (45分)

目標：道案内で、場所を尋ねたり答えたりする。

準備：タブレット【デジタル教材 (We Can! 1), ICT教材】、教師用絵カード、表現カード、ワークシート

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|--------|---|---|----------------|
| 導 入 | <p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日, 日付, 天気を言う。 <p>○【短い話を聞く活動】「先生たちがどんなことについて話しているのか聞いてみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の対話を聞き, どのようなやり取りをしているのか考える。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #f4a460; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【指導者のやり取りを聞く活動】</p> <p>T1: Excuse me. Where is Kaitaichi Station?</p> <p>T2: OK. Go straight for three blocks. Turn left. Go straight.</p> <p>You can see it on your right.</p> <p>T1: Thank you. T2: You're welcome.</p> </div> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f4a460; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>道案内の仕方を知ろう。</p> </div> | <p>◇はっきりとした声で, 気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇地図を見ながら道案内をするやり取りを聞かせ, 道案内の表現に気付かせる。</p> | |
| 展 開 | <p>○「道案内の仕方を知ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Go straight. Turn right/left. Stop. という表現を練習し, 道案内の言い方を知る。 ・ for ○○ block(s) や You can see it on your [right / left]. などのさらによくわしく説明する表現を知る。 <p>○【Let's Chant】Where is the treasure? (We Can! 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて道案内のチャンツを言う。 | <p>◇4年生で学んだ表現を思い出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆カードを提示し, right / left の方向を確認する。 <p>◇for ○○ block(s) という表現を付け加えることで, さらに分かりやすく説明できることに気付かせる。</p> <p>◇最初は繰り返しの部分だけを言わせ, 慣れてきたら他の表現も言わせる。</p> | |

| | | | |
|---|--|---|--|
| | <p>○【Let's Listen 3】「道案内を聞いて、どこに行くのかを考えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内の音声聞いてワークシート (We Can! 1 誌面) の地図上で道をたどり、行き着いた建物に番号を書く。 ・もう一度音声を聞きながら答え合わせをする。 <p>○【Let's Play 4】「友だちの道案内を聞いて、目的地をさがそう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ地図を使って、指導者が TT で道案内をするモデルを見る。 ・道案内を成功させるためにはどうするとよいかを発表する。 ・クラスの半分ずつに分かれて、ある場所に行く道案内の言い方と聞き方の練習を行う。 ・ペアで地図を使って実際に道案内をする。 | <p>◇最初は指導者も音声に合わせて一緒に地図上で指を動かし、道をたどるやり方を見せる。</p> <p>◆音声についていけない児童が多い場合には、スクリプトを見ながらゆっくり言って、1文ずつ位置を確認しながら進める。</p> <p>◇教える側は相手に正確に伝えるために分かりやすい道順を選び、教えてもらう側は確かめながら聞いて、どこまで情報を理解しているかを相手に示しながら聞くというモデルを見せる。</p> <p>◇児童と一緒に分かりやすく指示を出したり、その指示を繰り返して確認したりする。</p> <p>◆机間指導を行い、うまくやり取りのできていない児童のそばに行き、言い方を教えるなどの支援を行う。</p> | <p>道案内で、場所を尋ねたり答えたりしている。【慣】</p> <p>(行動観察、ワークシート点検、振り返りカード分析)</p> |
| <p>ま と め</p> | <p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p> | <p>◇道案内の表現や、道案内をする際には相手が理解しているか確かめながら行ったらよいこと、教えてもらう側は自分が指示を理解していることが相手に分かるように聞くようにすることなどを振り返る。</p> | |
| <p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内で、相手にわかりやすい説明になるよう意識して、はっきりとした声で場所を尋ねたり答えたりしている。 <p>A: Go straight for three blocks. Turn left. Go straight. You can see it on your right.</p> <p>B: Is it the library? A: That's right.</p> | | | |

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第6時 (45分)

- 目標：・他者に配慮しながら，場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。
 ・道案内で，場所を尋ねたり答えたり，簡単な語句を推測しながら読みたりする。

準備：タブレット【デジタル教材（We Can! 1）、ICT教材】，教師用絵カード，表現カード，ワークシート

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|----------|--|---|--|
| 導入 | ○挨拶をする。 ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日，日付，天気を言う。 ○【Let's Chant】Where is the treasure? (We Can! 1) ・リズムに合わせて道案内のチャンツを言う。 ○本時のめあてを立てる。 | ◇はっきりとした声で，気持ちのよい挨拶を交わす。 ◇道案内のやり取りで使う表現を確認してから，リズムに乗って一緒に言う。 ◇最初は繰り返しの部分だけを言わせ，慣れてきたら他の表現も言わせる。 ◇前時までに行っていることを振り返らせ，考えさせる。 | |
| 道案内をしよう。 | | | |
| 展開 | ○【Let's Listen 4】「道案内を聞いて，どこに行くのかを考えよう。1」 ・はじめに地図を眺め，どんな道があるかやどんな生き物がかくれているかななどをグループで交流する。 ・道案内の音声①を聞いて，ワークシート（We Can! 1 P56-57 誌面）上の地図を鉛筆でなぞりながら進む。 ・解答を聞き，たどり着いた先にあるものを英語で言う。 ・その初頭音の文字をワークシートの空欄に書く。 ・同様に②～④の音声を聞き活動する。 ○【短い話を聞く活動】「先生たちの道案内のやり取りを聞こう。」 | ◇古い地図から宝物を見つけ出すワクワクした気持ちを引き出し，聞くことへの意欲を高めておく。 ◇児童の実態に合わせて，ペアやグループで活動させてもよい。 ◆必要に応じて，音声を複数回聞かせたり，途中で止めて聞かせたりする。 ◇たどり着いた先にあるものの音を繰り返し聞かせ，最初の文字を推測させる。 ◇ワークシートに一文字ずつ書いていく中でどのような言葉が現れるかを想像させる。 ◇指導者が良いモデル（伝わりやすい道を選ぶ，確認しながら聞くなど）と | ・他者に配慮しながら，場所を尋ねたり道案内をしたりしようとしている。【コ】 ・道案内で，場所を尋ねたり答えたりしている。【慣】 ・簡単な語句を推測しながら読みている。【慣】 （行動観察，ワークシート点検，振り返りカ |

| | | | |
|---|--|--|--------------|
| | <p>・ワークシートの地図を使って、指導者が道案内のやり取りをするのを聞き、どのような表現を使ったか、どのような工夫をするとよいかなど気付いたことを交流する。</p> <p>○【Activity】「宝物を一つ選び、ペアでたずね合おう。」</p> <p>・ワークシートの地図を使い、ペアで道案内をする。一人が地図の中に描かれたイラストから宝物を選び、もう一人は”Where is the treasure?”と尋ね、道案内をしてもらう。宝物を見つけたら、”Your treasure is ○○.”と答える。</p> <p>・役割を交代しながら、何回か活動を</p> | <p>悪いモデル（分かりにくい道を選ぶ、反応をしないなど）を見せ、同じ場所への道案内でも違いが出ることを示す。</p> <p>◇宝物までの行き方は何通りかあるので、自分も言いやすく相手にも伝わりやすい道を選ぶようにさせる。</p> <p>◆机間指導を行い、うまく活動のできていないペアのそばに行き言い方を教えるなどの支援を行う。</p> | <p>ード分析)</p> |
| <p>★【めざす子どもの姿】</p> <p>相手に伝わりやすいように工夫したり、聞いたことを繰り返して確認したりしながら、道案内をしたり聞いたりしている。</p> <p>A: Where is your treasure? B: Go straight. Turn left at the first corner. Go straight for just a little bit. You can see it on your right. It's by the pond. A: Your treasure is a turtle. B: That's right.</p> | | | |
| | <p>○【Let's Listen 4】「道案内を聞いて、どこに行くのかを考えよう。②」</p> <p>・①の活動と同様に、道案内の音声を聞いて、ワークシート上の地図を鉛筆でなぞりながら進み、解答を聞き、たどり着いた先にあるものを英語で言ってから、その初頭音の文字をワークシートの空欄に書く。</p> | <p>◇たどり着いた先にあるものの音を繰り返し聞かせ、最初の文字を推測させ、ワークシートに一文字ずつ書いていく中でどのような言葉が現れるかを想像させる。</p> <p>◆必要に応じて、音声を複数回聞かせたり、途中で止めて聞かせたりする。</p> | |
| <p>ま と め</p> | <p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>・ふり返りカードを記入する。</p> <p>・数名の児童がふり返りを発表する。</p> <p>○挨拶をする。</p> | <p>◇案内する側が伝わりやすいように工夫していたり、教えてもらう側が確認しながら聞いて、どこまで情報を理解しているかを相手に示しながら聞いていたりした姿などを評価する。</p> | |

Dream 5-11 Where is the treasure? 私達の町を案内しよう

第7時 (45分)

- 目標：・他者に配慮しながら，場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。
 ・道案内で，場所を尋ねたり答えたり，簡単な語句を推測しながら読みたりする。

準備：タブレット【デジタル教材（We Can! 1），ICT教材】，教師用絵カード，表現カード，ワークシート（オリジナル海田町マップ），和英辞典

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項（◇） ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て | 評価基準 [評価方法] |
|---|--|--|--|
| 導入 | ○挨拶をする。 ・挨拶をする。（指導者と・ペアで） ・曜日，日付，天気を言う。 ○【Let's Chant】Where is the treasure?（We Can! 1） ・リズムに合わせて道案内のチャンツを言う。 ○本時のめあてを立てる。 | ◇はっきりとした声で，気持ちのよい挨拶を交わす。 ◇道案内のやり取りで使う表現を確認してから，リズムに乗って一緒に言う。 ◇最初は繰り返しの部分だけを言わせ，慣れてきたら他の表現も言わせる。 ◇海田町の地図を見せて，めあてを考えさせる。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「オリジナル海田町マップ」を使って宝探しをしよう。 </div> | | | |
| 展開 | ○「グループで『オリジナル海田町マップ』に宝物を書き込もう。」 ・地図上の建物の言い方の確認をする。 ・グループで案内をする場所と，そこにある宝物を決める。 ・ワークシートに建物名と宝物を英語で書く。 ○「グループでやり取りの練習をしよう。」 ・指導者の道案内と宝物の説明のモデルを聞く。 ・グループで道案内と宝物の説明のやり取りの練習を行う。 | ◇建物の言い方を確認する際に，千葉家なら "a beautiful garden"，薬師寺なら "Himawari Kannon" など，そこにある「宝物」も英語で言う。 ◇宝物は実際にそこにある物や海田町の名物など，各班で自由に決めさせる。 ◆机間指導を行い，うまく活動のできていないグループや書き方の分からないグループの支援を行う。 ◇指導者が相手意識をもったモデル対話をやって見せる。 ◆机間指導を行い，うまく活動のできていないグループやうまく言えない児童に，近くで言い方を伝えるなどして支援する。 | ・簡単な語句を推測しながら読みている。 【慣】 ・他者に配慮しながら，場所を尋ねたり道案内をしたりしようとしている。 【コ】 ・道案内で，場 |

| | | | |
|---|--|--|--|
| | <p>○「他のグループの友だちと道案内をし合う『宝探しゲーム』をしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2グループずつでペアを作って、「宝探しゲーム」を行う。 ・グループを変えて、同様に活動する。 | <p>◇やり取り自体は1対1で行わせる。</p> <p>◆机間指導を行い、うまく言えない児童には、近くで言い方を伝えるなどして支援する。</p> | <p>所を尋ねたり答えたりしている。【慣】</p> <p>(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカ)</p> |
| <p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わりやすいように工夫したり、聞いたことを繰り返して確認したりしながら、道案内をしたり聞いたりしている。 <p>A: Where is your treasure?</p> <p>B: Go straight. Turn left at the first corner. Go straight for three blocks.</p> <p>You can see it on your right.</p> <p>A: Is it Furusato Museum?</p> <p>B: That's right. My treasure is a Haniwa doll. It's funny.</p> | | | |
| <p>ま と め</p> | <p>○本時の活動をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ふり返りカードを記入し、自己評価を行う。 ・振り返りや気づきを発表する。 <p>○挨拶をする。</p> | <p>◇単元を振り返って、今までに学んだことや本単元で新しく学んだことを使って、相手に分かりやすく道案内をしたり宝物を説明したりできたことを評価し、もっといろいろな表現で紹介したいという意欲をもたせるような声かけを行う。</p> | |